

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価			
		2010	2011	2012	2013
1. アドミッションポリシーを各入試募集要項に掲載する。	1. 指標 : ①一般入試、センター利用入試、②AO入試、③帰国生徒入試、④スポーツ選抜入試、⑤外国人留学生入試、⑥その他の入試(高等部、指定校、協定校・提携校、継続校、海外学部協定校推薦)、⑦編入学試験、以上7つの各入試要項にアドミッションポリシーを掲載した点数 評価基準 : 7～6点に掲載…評価A、5～4点…評価B、3～2点…評価C、1点以下…評価D (2012年度までに達成を目指す)	B	B	A	
2. 募集要項に掲載したアドミッションポリシーに従い、一般入試、センター利用入試、AO入試、帰国生徒入試、スポーツ選抜入試、外国人留学生入試、その他の入学試験(高等部、指定校、協定校・提携校、継続校、海外学部協定校推薦)、編入学試験について、それぞれ募集定員を設定し、その人員を確保する。	2. 指標 : ①一般入試、センター利用入試、②AO入試、③帰国生徒入試、④スポーツ選抜入試、⑤外国人留学生入試、⑥その他の入試(高等部、指定校、協定校・提携校、継続校、海外学部協定校推薦)、⑦編入学試験、以上7つの各入試の募集人員を満たした点数 評価基準 : 7～6点が充足…評価A、5～4点…評価B、3～2点…評価C、1点以下…評価D (2012年度までに評価Bを目指す)	B	B	B	
3. 過去4年間の収容定員に対する在籍学生数比率を平均1.21～1.30とする。	3. 指標 : 過去4年間の収容定員に対する在籍学生数比率 評価基準 : 1.2以下…評価A、1.21～1.30…評価B、1.31～1.40…評価C、1.41以上…評価D (2013年度に評価Bを目指す)	A	A	A	

4. 毎年度、入試検討委員会を開催し、各入試の募集定員、選抜方法について定期的に検証する。	4. 指 標：当該年度における入試検討委員会の開催回数 評価基準：4回実施した…評価A、3回…評価B、2回…評価C、1回…評価D
---	---



A	B	C	
		☆	

2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
	→
	→



2010	2011	2012	2013

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	①～⑥の6つの入試について、アドミッションポリシーを入試募集要項に掲載した。なお、⑥の国際学部指定校推薦については入試募集要項に掲載し、その他、高等部、継続校、提携校、協定校については、各校と個別に文書・会議等にて高等学校を通じて明示している。
目標2	②④⑤⑥の4つの入試について、募集定員の人員を満たした。
目標3	在籍者は、1年生は297人、2年生347人、3年生は321人、4年生は279人、合計1244人であり、収容定員に対する在籍学生数比率は、1.04であった。
目標4	入試検討会を2回実施した。
備考	入試検討会については、開設3年目となり年々問題点を解決し、課題も絞られてきたため、検討回数を減らしても問題はなかった。

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【国際学部】		単位	2009	2010	2011	2012	2013	備考
指標1	入学定員	名		300	300	300	300	
指標2	志願者総数	人		2,562	3,299	2,818	2,867	
指標3	合格者数	名		498	686	632	531	
指標4	入学者数	名		283	325	348	297	
指標5	志願者倍率	倍		8.5	11.0	9.4	9.6	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	倍						入学者数÷入学定員 (小数点第二位以下切捨)
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	%		26.9%	32.3%	31.0%	21.2%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
指標8	収容定員	名		300	600	900	1,200	
指標9	在籍学生数	名		283	607	952	1,244	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	%		94.3%	101.2%	105.8%	103.7%	在籍学生数÷収容定員
指標11	編入学生数	名		(0)	(0)		()	編入学定員がない学部でも、編入学生がいれば記入する。※その場合は()で記入
指標12	編入学定員	名		—	—	—	—	
指標13	編入学定員に対する編入学生数比率	%		—	—	—	—	
指標14	学部・学科ごとの退学者数	名		2	4			

※指標11…編入学定員を持たない学部の編入学生数は()で記入